

大動脈ステント術を受けられる患者様へ(全身麻酔用クリニカルパス)

～手術直後から退院まで～

目標: 苦痛が最小限にとどまり、合併症を起すことなく回復することができる

- 計画: #1. 術後の経過について、医師から十分な説明が受けられるよう配慮します
 #2. 早期に異常が発見できるよう、観察します
 #3. 痛みや苦痛に対処します
 #4. 退院にむけて、日常の管理方法を説明し、心身を整えられるよう援助します

氏名 _____


受け持ち医師 _____

手術日 _____

受け持ち看護師 _____

転倒転落リスク (有・無)

褥瘡リスク (有・無)

	手術直後 (/)	1日目 (/)	2日目 (/)	3日目 (/)	4日目以降	7～10日目前後
説明	西病棟4階(術後回復室)では、広くて明るいオープンスペースの部屋になります 手術後に、家族の方には主治医から手術の説明があります 			午前中に車椅子か歩行で元の部屋にもどります 		退院指導 栄養相談
呼吸	酸素マスク 吸入 しっかり痰をだしましょう 深呼吸しましょう ☆廊下に展示中のオリエちゃんをご参照ください☆	吸入 → 鼻酸素 深呼吸しましょう しっかり痰を出しましょう	酸素濃度が95%以上あれば終了			1週間で終了
食事	飲んだり食べたりできません	朝: 水分可 昼: 三分粥 夕: 五分粥	朝: 七分粥 昼～全粥 (塩分7g)		術前の食事に戻ります	
内服	ありません	飲み薬が再開されます ワーファリンを内服します	飲み忘れに注意しましょう			内服指導 
点滴	中心静脈と末梢ラインから持続して点滴します 異物反応による発熱に対して抗生剤を投与します 肝機能保護の注射をします	点滴 栄養・水分補給の点滴あります 抗生剤の点滴・肝保護の注射があります ワーファリンが効き始めるまで抗凝固剤の点滴をします				
検温処置	1～2時間おきに検温 呼吸音聴取 腸蠕動音聴取 血糖測定をします 3回/1日 	4～6時間おき ステントの反応熱が続きます 尿の管が入ります 翌日に抜けます 弾性ストッキング	4～8時間おきに検温します			
清潔	うがい(少し頭を上げ、ベッド上で寝たまま出来ます) 温かいタオルで顔など拭きます 汗などかいた場合は、清拭、着替え出来ます		清拭します 足浴や洗髪も出来ます 			抜糸してから24時間経てばシャワー出来ます 
検査	採血 血液ガス採取 レントゲン (手術後は夕方に部屋にとりにきます)  	採血 レントゲン(お部屋でとります)	適宜、採血、レントゲン			卒業検査のCT 
痛み	痛いときは、注射します 痛みを我慢しないで、痛いときはナースコールしてください		痛いときは痛み止めなどで痛みをコントロールします 			
活動	ベッド(エアマット入り)上で過ごします 横向きやヘッドアップも可能です 目はしっかり開けられ、話せます 体の中に入っている管を抜かないように注意しましょう 	ゆっくり起き上がって ふらつきが無ければ歩けます	安静度の制限はありません			